



宇津木台 森遊会 実施報告

「第4回定例活動」

No.2015-04

実施日	2015年7月26日(日) 9:30~12:30	天候: 晴れ	記録: 金森
場所	宇津木台緑地(八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者: 9名(男性4、女性5) 中村(弘)、中村(隆)、大神田、大澤、酒井、秋間、山下、鶴田、後藤 インストラクター: 金森		

実施内容

活動5年目の第四回目。35度を超える猛暑の中、石川中学校の関係者5名(うち中学生4名)が新たに加わり、除伐作業を行った。

オリンパス技術開発センター宇津木の駐車場に集合。石川中学校の関係者は9時30分には集合しており、名札の作成、幟の組み立て、蚊取り線香の準備などを行う。10時に全員集合した。

6月に続いてテニスコート裏側の傾斜地を除伐する。準備運動の後、途中休憩を挟んでおよそ50分間、大汗になりながら、雑木を伐ってゆく。熱中症には細心の注意を払った。

中学生4名は大人とペアになり、作業を教えてもらいながら進めた。特に、鋸の使い方は徐々に慣れて、終了時には上達していた。このエリアの除伐は、残り数十メートル、まだ終わらない。

駐車場に戻り、木陰で道具を手入れした。樹洞性鳥類と巣箱について資料をもとに以下を説明。樹洞(巣箱)を使う野鳥/巣箱のメリット・デメリット/設置やメンテナンスの注意点

中学生による巣箱の製作(9月)、設置(10~11月)、観察(3~4月)、レポート(5月)を予定している。



猛暑の中出発



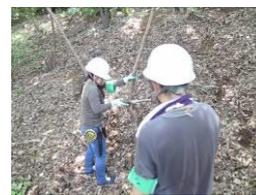
準備運動の後、除伐を開始



シラカシやヒサカキの細いものを伐ってゆく



中学生と大人がペアとなり鋸の使い方を教えながら進める



だいぶ上達してきた



陽の当たるエリアが広がった



お疲れさまでした



一休みして駐車場へ戻る



道具の手入れ



木陰が涼しく感じる

連絡事項 ・怪我、ヒヤリハットなし。 ・ボランティア袋は小1個を指定の場所に置く。